市功労者表彰式

15個人・11団体たたえる

長年の尽力 感謝込め

桜井市長らと記念撮影をする本年度の市功労者表彰を受けた人たち＝1日午前、市民プラザ

柏崎市の市制施行記念日の1日、2022年度市功労者表彰式が市民プラザで行われた。1940年の市制施行の日から数え、今年は82年。9分野で長年の功績や顕著な活躍のあった15個人・3団体に表彰状を、8団体に感謝状を贈った。桜井市長から賞状が手渡され、それぞれが栄誉をかみしめた。

表彰式であいさつした桜井市長は戦後、全国で162番目、県内では5番目の市として始まった市政の歩みを振り返った上で「本日表彰の皆様の尽力に心から感謝したい。非常に厳しい時代、少しでも安心して豊かな社会にできるのは市民一人ひとりの努力の積み重ねがあってからこそだ。皆様はそれぞれの領域におけるリーダーであり、先駆者であり、後継者である。今後とも知恵と力を柏崎市のために貸していただきたい」と述べた。

来賓を代表し、真貝市議会議長は「それぞれの分野で長年活動・活躍し、福祉の向上、市勢の発展に多大な貢献をされたことに感謝したい。これからも一層の尽力をお願いしたい」と祝った。

表彰者を代表して善行功労の谷川新田美伝の会代表・飯塚悦立さん(77)が謝辞を述べた。25年前に初めて桜の苗木を植え、1年に200本ずつ増やし続けた。千本に達成し、今年は20年の節目を迎えた。飯塚さんは「心のこもった表彰は感極まるところだ。一生心に残る宝になると思う。柏崎市が明るく元気になるようにこれからも一生懸命取り組みたい」と感謝と決意を込めた。

功労者表彰を受けたのは次の個人・団体。かっこ内は年齢・住所・功績対象の主な内容など。

自治功労＝若山光宮(76・高柳町岡田・統計調査員)、松崎重勝(78・藤井・町内会長)▽産業功労＝故酒井好道(79・四谷1・ものづくりマイスターカレッジ運営委員長)▽教育文化功労＝須田弘宗(85・扇町・柏崎市綾子舞保存振興会役員)、岡島利親(61・西本町1・新聞発行を通じた情報発信と文化イベントの開催)、柏崎芸術協会(上質な音楽・芸能に触れる機会を多数提供)▽保健衛生功労＝故石川真理子(65・中央町・柏崎薬剤師会会長、学校薬剤師)、上原政雄(71・鏡町・学校医、開業医として地域医療の確保)、鈴木公子(62・西山町西山・学校歯科医、母子保健活動など)▽体育功労＝稲場悠介(22・宰山県富山市・東京2020オリンピックに水球日本代表として出場)、小出未来(30・横山・同)、津崎明日美(33・岡山県倉敷市・東京2020オリンピックに水球審判員として参加)▽民生安定功労＝寺沢正美(66・加納・市消防団副団長)、小黒秀樹(59・旧広田・市消防団分団長)、永宝和彦(69・東本町1・保護司)▽善行功労＝牧岡五夫(87・番神2・交通立哨精励)、柏崎マリンスポーツ連絡協議会(西港町・海岸環境美化に尽力)、谷川新田美伝の会(宮場町・八重桜植樹管理継続)▽行政協力功労(感謝状)＝一般社団法人柏崎市刈羽郡医師会(鏡町)、一般社団法人柏崎薬剤師会(茨目1)、JA新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センター(北半田2)、独立行政法人国立病院機構新潟病院(赤坂町)、医療法人公仁会柏崎中央病院(駅前2、医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院(茨目)、医療法人明生会関病院(元城町)＝以上、新型コロナウイルスワクチン接種業務精励▽金品寄付功労(感謝状)＝北日本エンジニアリング株式会社(新橋・かしわざき子ども育成基金に多年継続寄付)